

会議録

会議名	平成 30 年度第 3 回八王子市文化財保護審議会
日時	平成 31 年 3 月 25 日(月) 午後 6 : 00～午後 7 : 30
場所	八王子市役所 本庁舎 702 会議室
出席者	【委員】 相原悦夫会長・加藤哲副会長・阿部朝衛委員・岩橋清美委員・菅原敬委員・津山正幹委員・中村ひろ子委員・野嶋和之委員・堀江承豊委員・本間岳人委員 【事務局】 中野みどり文化財課長・金子征史主査・柴田恭典主事
欠席者	鹿島繭委員・神立孝一委員・西川広平委員
議題	
報告事項	平成 30 年度文化財課事業の報告について
その他	
公開・非公開の別	公開
傍聴人	0 人
配布資料	1 第 3 回文化財保護審議会次第 2 報告事項資料
会議録	要点筆記とする。
会議録署名人	相原悦夫・加藤哲

開会

報告事項 平成 30 年度文化財課事業の報告について

(柴田主事より平成 30 年度文化財課事業について説明)

相原会長

事務局より報告がありました。今年度は、新たに歴史文化基本構想策定のための準備作業も並行して進めているとのことでした。

質問があればどうぞ。

菅原委員

文化財の現状変更に関して質問があります。八王子城跡や滝山城跡は史跡であることに加え、市民にとっては自然公園的な価値観もあります。気になったのは、眺望を確保するため、あるいは通路の確保のためなどで、樹木の伐採が安易に行われてはいないですか。

金子主査

滝山城跡については、北側の多摩川を望む眺望を確保して欲しいという要望も受けて、東京都の西部公園緑地事務所が、樹木を伐採する計画を立てて管理を行っています。

加藤副会長

地元の団体が下草を刈ったり、曲輪の跡が見えるように樹木を伐ったりしていますが、手続きなどは行っているのですか。

金子主査

市の管理地で下草を刈ったり、樹木を伐ったりした際は、市の職員が立会って指導をしています。

加藤副会長

樹木を伐ったりする際に土塁が崩されてしまうこともあります。文化財を見せることでの弊害が出てくるので、保存することも合わせて考えないとはいけません。文化財を保存していく立場からすれば、活用する面に偏り過ぎてはいけなと考えています。歴史遺産活用検討会の場合でも活用に関しての意見が多いが、保存する立場の意見を取り入れていく必要があると思います。

相原会長

他にありますか。

阿部委員

歴史を活かした魅力の発信事業の説明で、10 地域でモニター調査を行ったとありましたが、その調査ではどのような意見がありましたか。また、外国人の方からはどのような意見がありましたか。

柴田主事

地域ごとの意見が伺えました。例えば、中心市街地では、八王子まつりの際にいちごシロップを水で薄めた赤い水が飲めるという話題があって、場所によっては今でも残っているというようなエピソードも聞くことができました。

外国人の方に関しては、アジア圏の学生の方が多かったのですが、マンガや戦国系のゲームを通じて日本の歴史や文化、そして八王子に興味を持っていただいたようで、特に、城について関心が高かったです。その他、中町の黒塀通りや絹の道、また、銀杏を食べる文化がある国の方はいちごの葉っぱにも関心が高かったです。日本の歴史や文化について、ある程度は認知されていたので、我々行政側も歴史や文化の発信方法や内容について、多角的に考えていく必要があると感じました。

相原会長

先ほど加藤副会長から、場合によっては対立しかねない概念である保存と活用についての指摘がありました。これからは特に活用の部分がクローズアップされていきます。例えば、竹田城では、全国から人が来て土塁が崩れるなどして観覧を一時停止したことがありました。こうした事例から、八王子城跡の集客力を高めていくなれば、保存の指針はもとより、活用の指針を明確にしていくことが行政として必要だと思います。

中野課長

ご指摘のとおり、活用を進めていくほど保存が難しくなる面もあると思いますが、そこはバランスを図ることが必要だと考えています。

相原会長

行政のスタンスを明確にしておいた方がいいです。

金子主査

八王子城跡では、野鳥を観察している人達が土塁に乗っているという苦情が寄せられていますが、そこは、住み分けが求められていると考えています。

相原会長

土塁の問題もそうですが、冠木門への落書きの問題もあります。来られる人へ、これは文化財であると周知を行っていく必要があります。

柴田主事

最近、ニュースでお寺に油をかけられたなどの事件が報じられました。文化財を守るためのネットワークや相談先を紹介して欲しいという所有者の方からの声もいただいています。文化財の所有者に関する仕組みや事例などについても研究を進めていく必要があると考えています。

野嶋委員

文化財の調査など基本的なことがおざなりになって、活用の方向にばかり関心が行ってしまうことを危惧しています。調査に予算も確保して、保存の部分をきちんと行い、その上で活用を行って欲しいと思います。文化財行政が核心にあった上で、観光分野などへの活用を考えていく、そうした考えで歴史文化基本構想の取組を進めて欲しいです。

柴田主事

勿論、基礎研究は重要で、文化財の保存という観点をしっかりと踏まえた上で、文化財に関するマスタープランとなる歴史文化基本構想の策定を進めています。

津山委員

今後も10地域の分けをもとに歴史文化基本構想を考えていくのですか。

柴田主事

10地域という前提で検討していきたいと考えています。

津山委員

地域性はよく分かりますが、折角、市として一つになった八王子を、また10ヶ村のお国自慢をさせるのかなと言う気になります。

柴田主事

市の基本構想では6地域に分けていますが、今回は、文化が継承されているという観点で、10地域に分けて検討を進めているところです。

相原会長

他にございますか。特になければ次第に沿って進行します。事務局から説明をお願いします。

その他

(柴田主事より次年度の審議会の日程など連絡事項を説明)

相原会長

他にございますか。

加藤副会長

危惧していることがあります。式分方の地名の由来にもなった報恩寺の石塔についてです。新八王子市史にも書かれていて一部では有名になっています。簡単に持って行くことができるので、保管状態が非常に心配です。

金子主査

それについては、地元の方に頼んで、建物の中にするようにお願いをしています。

加藤副会長

建物と言っても、その気になればいつでも持って行くことができます。地名と古文書と石造物が全て同じものを指している、東日本で唯一の事例ではないでしょうか。早く文化財の指定をして、郷土資料館などで良い状態で保存する必要がありませんか。歴史文化基本構想の検討でも、地名から歴史を探るテーマがあるので、当然、式分方にも触れると思います。その根拠になるものが紛失してしまう危機にあるので、保存や文化財の指定を検討していただきたく思います。

金子主査

近日中に保管状態の確認をしてみます。

加藤副会長

それから、八王子城跡から出土したレースガラスは、貸出のオファーがたくさんあるようですが未指定ですよね。他にも陶磁片がたくさん出土していて、苦勞して復元したりしていますが、八王子城跡から出土したものを一括指定はできないものではないでしょうか。都や国指定にもなりえるとは思いますが、都や市で未指定のものを、すぐに国指定の文化財になるとは思えませんので、まず、市の方で対策をとるべきではないでしょうか。

相原会長

それについては、今後のこととして検討をお願いしたいと思います。他になければ以上で審議会を終了します。

閉会